



望月中小企業庁長官より表彰を受ける河東社長

『㈱ベアック』第3回「新機械振興賞」 中小企業庁長官賞受賞

第3回「新機械振興賞」において『㈱ベアック』（富士見町南原山 代表取締役 河東和彦社長）が、『中小企業庁長官賞』を受賞しました。

「新機械振興賞」は、(財)機械振興協会が、優秀な研究開発を行い、その成果を実用化することによって、わが国機械工業技術の進歩発展に著しく寄与した企業等を毎年表彰しているものです。

本年度同賞に対して、機械工業関係団体等より45件の候補が推薦され、審査の結果、キャノン㈱、ヤマハ発動機㈱など計9件の受賞が決定しました。

㈱ベアックの業績は其中でも特に優秀と認められ、中小企業対象の最高賞にあたる『中小企業庁長官賞』の受賞となりました。

1月17日、東京プリンスホテルで開催された表彰式において、望月晴文中小企業庁長官より、代表取締役 河東和彦社長へ表彰状が授与されました。

中学生5名

スキー・スケートで全国大会へ出場

2月5～8日 新潟県妙高市で開催される全国中学校スキー大会へ南中学校2年の小林由実さんが、また、2月4～7日 北海道釧路市で開催される全国中学校スケート・アイスホッケー大会へ高原中学校3年の梅川風子さん、南中学校3年の坂本亜由美さん、2年の佐伯幸平くん、平出祥太くんの4名がスケートで出場します。

1月30日 出場報告に役場を訪れた5名に、町長・教育長より激励の言葉が贈られました。

厳しい寒さの中で練習に励んできた成果を、思う存分発揮してきてくださいね。



ふるさとのみなさんへ

東都高原富士見会だより



樋口 達
神奈川県横須賀市
(芋の木出身)

私の人生体験記

私は現富士見町芋の木の生まれです。現在は横須賀市に住んでおります。故郷の富士見を出て五十八年になります。

私は昭和十五年五月、小学校四年生の時に旧満州へ家族と行きました。開拓団の父親に同行しました。昭和二十年八月十五日に終戦を迎えました。一年あまりは暴民の襲撃にあいました。言葉では表せない体験をしました。一年後の昭和二十一年十月十九日、生まれ故郷の富士見駅に着いた時の事は今でも忘れることができません。私は引揚者です。引揚後は、富士見中学校へ五ヶ月行きました。卒業後は、山梨県の現御坂町の自転車店に勤め、昭和二十六年四月に、知人を頼り横須賀へ来ました。朝鮮戦争の

最中でした。ビックリしたのはアメリカ兵の大きい事でした。私の人生は、これから始めです。米軍の船に弾薬の積荷の作業をしました。その後はコーヒーポニーになり、一日の日給が五百四拾円でした。米軍のピヤホールにも勤め、昭和二十八年四月米海軍横須賀基地に勤務し、昭和三十六年六月ダイヤ八ツ自動車の販売員になり、昭和四十五年に独立、三菱自動車を経営し、現在に至っております。富士見会だよりは毎回読んでおります。生まれ故郷の事は忘れる事はできません。先日、富士見町のどんどん焼きに参加しました。富士見出身者と新宿の三平食堂で思い出話をします。富士見町と東都高原富士見会の発展を心よりお祈り致します。